

在宅看護論Ⅱ 授業⑩

～ 在宅での導尿と

ストーマケア～



福岡水巻看護助産学校
1年生

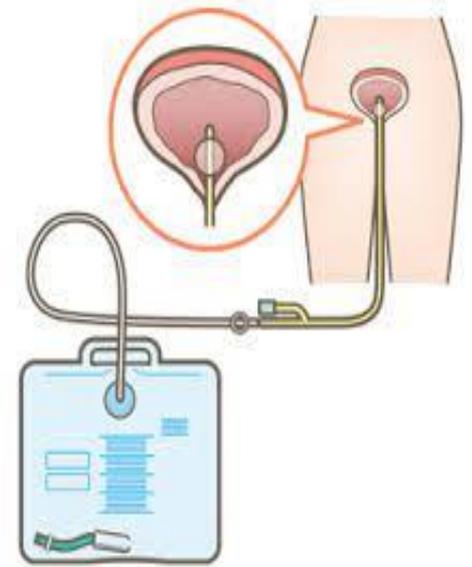
I. 導尿

1. 導尿とは？

()に貯留した尿を
自力で排泄できない場合
カテーテルを使って排泄する。

2. 間欠導尿とカテーテル留置

()や家族が
カテーテル挿入して、1日
数回の導尿を行うことを
()と言う。



3. それぞれの対象者

カテーテル留置

介護負担が少ない
尿管管理が容易だが、
活動が制限されやすい



自己導尿

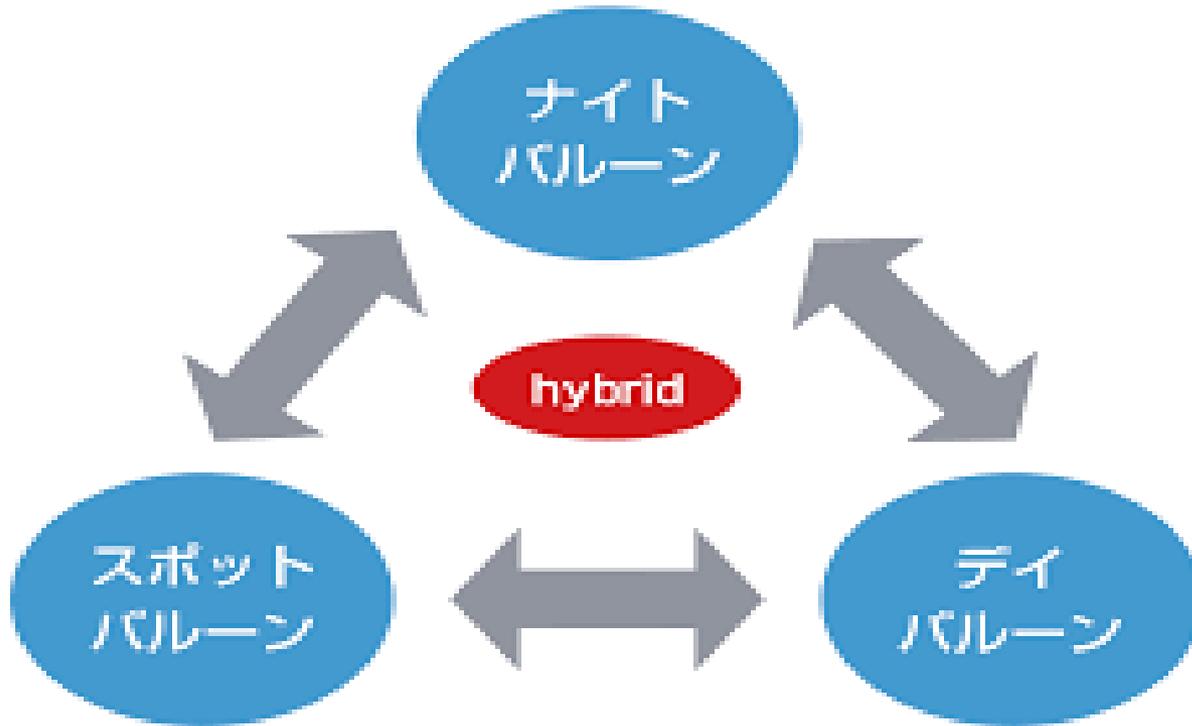
1日に4、5回
導尿を実施

技術習得が
必要



<カテーテル留置>

夜間や日中、必要時のみと()に
よって呼び名は色々...



<

>

()や脳梗塞等で

()がある



膀胱内に尿が貯留しても、脳神経の障害で

()を感じたり、腹圧をかけることができない。おむつ装着する場合もある。

便意についても同様で、()投与や

()等のケアを要する。

4. 導尿によって生じるリスク

1) ()

自己導尿

⇒ 確実な()操作
物品の()、清潔保持
陰部の清潔保持

尿道留置カテーテル

⇒ 尿の()注意！
()は膀胱より下に取り付け
尿道口の清潔保持

2) 尿道口の損傷や皮膚トラブル

自己導尿

⇒ 導尿時の適切な手技、清潔保持

尿道留置カテーテル

⇒ 尿漏時は、()の量を確認

尿漏れが続く時は固定水を増やすが
安易にカテーテルを()しない。

テープの()場所を変え、

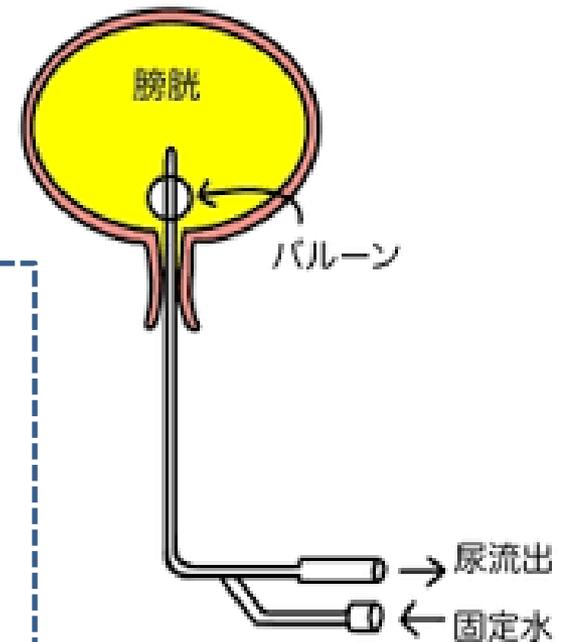
皮膚トラブルを予防

留置用カテーテル



体格によってチューブの太さ
(号数)は異なる。

()の量は記録に残し、
適宜確認、固定水の量が減ると
バルーンはしぼんでしまう。



3) 尿の流出不良・閉塞、カテーテル抜去

尿道留置カテーテル

⇒ 濃縮尿や浮遊物がカテーテル内部に
付着し、流出不良や閉塞
カテーテルの()にも注意

固定不十分や()による

カテーテル拭去

目に入りにくく、手が触れにくい

固定場所を工夫

4) 介護負担

自己導尿

⇒ 1日複数回の導尿によって()や
ストレス、()の制限

尿道留置カテーテル

⇒ 排尿量や性状の観察
尿の()
留置カテーテルの管理
…()や閉塞、
破損予防



5) 社会生活の制限

自己導尿

- ⇒ 外出時間の制限
外出先での導尿は障害者用トイレの使用
自己()の低下や自己()
の混乱、()に注意

尿道留置カテーテル

- ⇒ ()だけの
生活にならないよう注意
要介護者は()
)等サービス利用



尿道留置カテーテルの交換

男性療養者は()、女性療養者は
医師または()によって交換
緊急時のために交換用カテーテルを
()に準備
カテーテルや蓄尿バック、消毒用綿球は
医療保険の「在宅寝たきり患者処置
」で()から支給

固定場所も色々・・・



◎（ ）

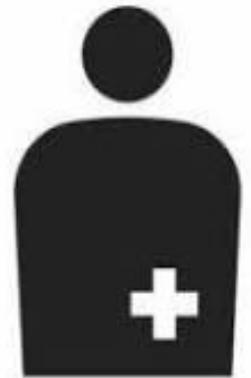
～大腿部に固定する蓄尿バック
色や形も多様化
カバーはテキストP.245参照

Ⅱ. ストーマ (テキストP.246)

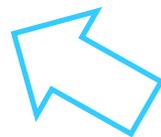
1. ストーマとは？

()と()があるが、一般的には「ストーマ」の場合は人工肛門を指し、人工膀胱の場合は「()」
と言う。ストーマ保有者(造設者)を
()と言う。

◎()マーク
外出先でストーマの洗浄やパウチ
交換ができる公衆トイレの表示



パウチ装着



パウチ・・・ (テキストP.246)

ストーマ保有者が便や尿をためる袋
特殊な接着剤で()に張り付ける。
接着剤がついた部分を()、
()と言う。
袋と一体になった()と
別々になった()がある。
これらを()と言い、()
()の交付を受ければ()される。

ストーマの洗浄



2. ストーマの対象者 (テキストP.247)

1) 人工肛門

大腸や結腸の()

ヒルシュスプルング病や潰瘍性大腸、

クローン病などの()

外傷で腸の()がある場合

◎ストーマの部位で()ストーマ、

()ストーマと呼ばれる。

2) ウロストミー

尿管や尿道、膀胱、前立腺、外陰部の

()

()など重度の炎症

()による尿道閉鎖

()

3. ストーマによって生じるリスク

1) ストーマ(表面)の損傷

術後まだ間もないと、表面は柔らかく傷つきやすい。神経がなく、()を感じないため注意する。()もないため、()や()を感じず、自力で排泄を()できない。

2) パウチからの便漏れ

パウチ装着の()が不十分
ストーマ()や凹凸、ストーマ造設
術の影響によるヘルニアも要因となる。

(テキストP.249)



便が漏れて
しまって...

3) ストーマ周囲の皮膚トラブル

()や()の付着、()
接着部分の刺激で、周囲の皮膚は炎症を
起こしやすい。

()便とならないよう排便コントロール
接着刺激の少ないパウチを選択する。

(個人差あり)

4) ストーマの狭窄・脱出

狭窄すると？

人工肛門・・・()

人工膀胱・・・()や()

脱出では？

粘膜()、血行障害、便秘や腹痛

5) ストーマによる生活の制限、変化

人工肛門では()の良い食事

人工膀胱では適切な()の確保

()OK!

(パウチははずすが、公衆浴場では装着)

6) 心理・社会的影響

()の変容が起こると・・・?

最近、話題になりました。

素敵な水着姿！



モデルの方がパウチをつけた水着姿を公開！
「勇気が出ました！」との感想が・・・